

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 406 (通算 738 回)

2020 年 3 月 16 日(月)

教員風土への外からの風

実務家教員への期待と養成・FDの実際

～「実務経験」＋教育指導力＋研究力／公的学費助成／教員評価～

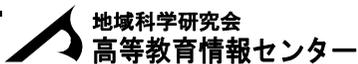
- ※ 教育重視型大学・大学院の教員のタイプと役割／週 5 日・4 日・3 日勤務制／自己 vs. 他者評価
- ※ 現代社会からみる実務家教員／HLS (Hyper Learning Society) 時代のメタ化戦略／養成と FD
- ※ 実務家教員 COE プロジェクト～4 大学 4 学校法人 5 企業の連携／成果と課題／今後の展開
- ※ 日本の人材育成は危うい！／教育イノベーターとしての実務家教員／育成・活用・取組の実際
- ※ なぜ実務家教員か／養成講座の開発設計～実務教育協会の取組み／教員評価・FD／登用の促進

● 講師陣 ●

- 今泉 忠 氏 / 多摩大学 経営情報学部 大学院経営情報学研究科 教授
- 川山 竜二 氏 / 社会情報大学院大学 学監 広報・情報研究科 研究科長 教授
- 荒木 啓史 氏 / 社会情報大学院大学 先端教育研究所 准教授
- 大森不二雄 氏 / (国) 東北大学 高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センター長 教授
- 清水 一彦 氏 / (公) 山梨県立大学 理事長・学長
(一財) 全国大学実務教育協会 代表理事・副会長

【企画協力】 学校法人 城西大学

2020 年 3 月 16 日(月) 城西大学 東京紀尾井町キャンパス 3 号棟 国際会議場 (東京・麹町)



日時：2020 年 3 月 16 日(月) 10:00 ～ 16:40

会場：城西大学 東京紀尾井町キャンパス 3 号棟
国際会議場 (東京・麹町) 千代田区平河町 2-3-20

アクセス：東京メトロ有楽町線 「麹町駅」1 番出口より
徒歩 5 分。または東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」
1 番出口より徒歩 5 分

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名(資料代込) 43,000 円(税込)
B. メディア参加(資料・音声 CD 送付) 44,000 円(送料、税込)
C. 高等教育同人(☆) 23,000 円(税込)

- ※ メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。
- ※ なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。
- ※ 参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。
- ☆ 高等教育計画経営研究所同人は KKJ の HP でご確認願います。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
三菱 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
郵便振替 00110-8-81660
口座名 <(株)地域科学研究会>

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-10 ライオンズ平河町 101
Tel : 03 (3234) 1231 Fax : 03 (3234) 4993
E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp
HP : http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 406

実務家教員への期待と養成・FDの実際

年 月 日

- (□に✓印を)
- 当日参加 メディア参加
 - 支払方法 郵便振替 当日払い 銀行振込
 - 必要書類 請求書 見積書 領収書

勤務先

所在地 〒

(請求書等記載の宛名)

連絡部課・担当者名

TEL

FAX

メールアドレス

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 〃 11:20	<p>□教育重視型大学・大学院における教員のタイプと役割 ～教育重視・研究重視・実務教育・マネージャ型／週5日・4日・3日勤務制～ 多摩大学 今泉 忠</p> <p>1. 社会からの大学の要請 (1) 何故教育重視なのか—21世紀に求められる人材 (2) 大学教育での教員の役割 (3) 実学教育の必要性</p> <p>2. 教員のタイプと勤務体制 (1) 「学修」を達成するためには (2) 再任・昇格での業績評価 (3) 教員の自己評価と他者評価 (質疑応答)</p>
11:30 〃 12:30	<p>□実務家教員へのニーズと養成・FDプログラムの展開 ～HLS (Hyper Learning Society) 時代のメタ化戦略～ 社会情報大学院大学 川山 竜二</p> <p>1. 現代社会からみる実務家教員 (1) Society5.0時代が意味するもの (2) 人生100年時代のリカレント教育 (3) 知識社会とHyper Learning Society (4) 学びの質保証 (5) HLS時代の生存戦略～メタ化戦略</p> <p>2. 実務家教員養成の展望と課題 (1) 実務家教員の変遷 (2) 実務家教員の3要素～実務経験・教育指導力・研究能力 (3) 「実践の理論」という新たな知 (4) 職業教育の高度化と脱魔術化 (5) 厚労省「教育訓練給付金」「専門実践教育訓練(支援)給付金」制度等の活用 (6) ジェネリックスキルとしての実務家教員 (質疑応答)</p>
13:30 〃 14:30	<p>□実務家教員COEプロジェクトの取組み ～4大学4学校法人5企業の連携～ 社会情報大学院大学 荒木 啓史</p> <p>1. 実務家教員COEプロジェクトの概要 (1) プロジェクトの狙い：実務家教員の育成システム構築・普及 (2) プロジェクトの内容・体制：4大学4学校法人5企業による取組み</p> <p>2. 実務家教員養成課程 (1) 実務家教員養成課程とは (2) 実務家教員養成課程の成果と課題</p> <p>3. 持続可能で質の高い実務家教員育成システムの構築 (1) FDプログラムの設計 (2) 認証評価制度の構築 (3) 教材の開発、ナレッジシェアリング (4) 学会の設立 (質疑応答)</p>
14:40 〃 15:40	<p>□学びと社会をつなぎ大学を変える実務家教員育成・活用の課題 ～4大学20企業4自治体等の連携／大学とのマッチング～ (国) 東北大学 大森 不二雄</p> <p>1. 取組の背景：日本の人材育成は危うい！ (1) 大学生は勉強しないという日本の常識＝世界の非常識 (2) 世界で一番学ばない日本の社会人 (3) 経団連会長から発した教育・雇用一体改革への機運 (4) 学びと社会をつなぐ必要性と実務家教員の役割</p> <p>2. 取組の概要：教育イノベーターとしての実務家教員の育成・活用 (1) 産学循環型人材育成システムの構築をめざして (2) 中核拠点としての研修計画「産学連携教育イノベーター育成プログラム」 (3) 全国的な産学共同人材育成コンソーシアムの創設へ (4) 運営拠点としての取組計画「実務家教員育成・活用ナショナルシステム」</p> <p>3. 取組の課題：ロケットスタートと持続的発展 (1) 企業にとってのメリットは？ (2) 大学は実務家教員の採用に当たって研修の価値を重視するか？ (3) なぜ申請書記載のスケジュールよりも1年前倒したか (4) ロケットスタートが持続的発展につながる (質疑応答)</p>
15:50 〃 16:40	<p>□実務家教員の養成・活用・評価・FDの設計と展開 ～実務家教員の強みと弱み／実践的職業教育の深化～ (公) 山梨県立大学 清水 一彦</p> <p>1. なぜ実務家教員か？ (1) 大学の歴史から (2) 大学の制度改革から (3) 大学の法規定から (4) 実践的職業教育の深化をめざす</p> <p>2. 実務家教員養成講座の開発設計 (1) 全国大学実務教育協会(JAUCB)の取組み (2) 実務家教員へのヒアリング調査結果 (3) 大学経営者へのアンケート調査結果 (4) アクティブラーニング、FD実践者養成講座との関係</p> <p>3. 実務家教員養成講座の実施と課題 (1) 養成講座の内容と特長 (2) アクティブラーニング手法による効果 (3) 実務家教員登用の促進に向けて (4) 実務家教員の教員評価(業績評価) (質疑応答)</p>